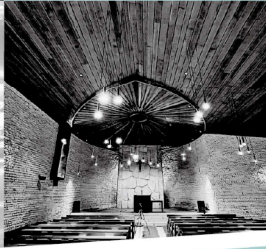


生き
イキ



CAPI



CHALLENGE



挑戦



ひたち若き会議
HITACHI WAKAMONO
かがやき会
KAGAYAKI KAIGI



産直



WAKAMONO



HITACHEER



SNS



場づくり

つなぐ



発信



自然豊か



CONCIERGE

魅力創り



住み
よい

特別なことを

実現するだけでなく

自分らしくいられるまち

茨城県日立市は、ものづくりで発展してきた産業都市であり、
過ごしやすい温暖な気候と豊かな自然に恵まれているまちです。

このまちには、知られていない魅力がたくさんあります。

私たち「ひたち若者かがやき会議」は、
日立市がこの先もずっと愛され続けるために、
若者視点での魅力発掘と発信に取り組む団体です。

こうしたチャレンジを通して私たちが目指すまちの姿は、
「かがやく若者であふれるひたち」。

“特別なことを実現するだけでなく、自分らしくいられること”を、
私たちは「かがやく」と定義しています。

「好きなこと」は「知っている」ことの中からしか見つからない。

来るたびに、見てまわるほどに、新しい発見がある。

あなたにとっての「日立のここが好き！」を増やして、
イキイキ・ワクワク、自分らしく、暮らしてみませんか？

HITACHI
WAKAMONO
KAGAYAKI
KAIGI

2022

ひたち若者ががやき会議
2期目に突入！

若者から社会人までの様々なキャリアをもつ14人のコアメンバーで、1期目の倍以上のプロジェクトを推進しています！



2期目



2021

ひたち若者ががやき会議 設立

茨城県日立市が2021年3月に策定した、「ひたち若者が目指すべき姿に掲げた「かがやく若者であふれるひたち」に近づくための一歩として、2021年7月7日に設立した、若者主体の組織です。まちのにぎわいづくりや魅力づくり、地域課題解決など若者のアイデアにより実践していくことを目的に活

がやきプラン」の組織です。どに対する取組を動しています。

1期目

若者会議全体会



市内外の若者が一堂に会し、テーマに沿って話し合う場を年に2回実施。ここでの意見はプロジェクトへの反映や行政につなぐ

ひたち産直講座
～地産地消×SDGs～

日立市の魅力「山・海・畑」に触れながら日立市で暮らし働く「ひたちびと」の仕事に触れられる体験型講座を実施



2021

ひたち若者ががやきプラン
策定

18歳から39歳までの若者世代が「自分らしい生き方を見つけ」「夢や目標を実現し」「幸せを感じられる暮らしができること」を願い、若者のチャレンジを応援するプランが完成しました。



ひたち若者ががやきプラン

オンラインも含め
市民 2,000人
以上が参加

若者交流の場

これまでの流れ

2020

ひたち若者ががやきプラン
検討開始

第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるテーマのひとつ「若者応援」を具現化するためのプランの検討が開始されました。



モノ・コト・ヒトのありのままの魅力を発信する
発信プロジェクト -HITACHEER-



まちのにぎわいとつながりを生み出す
場づくりプロジェクト



子育て世代・子育て支援団体・行政・企業などがつながる場づくり
コンシェルジュプロジェクト



ひたちの「食」や「人」の魅力に触れる
産直講座プロジェクト



若者が一堂に会し、日立市の未来について語り合う場
若者会議全体会



若者同士の交流と地域団体との連携を図る
つなぐプロジェクト -CAPI-



市民の意見から生まれた
2022 PROJECT

<<<

若者会議全体会を経て、今期は5つのプロジェクトが発足。日立のモノ・コト・ヒトの魅力が伝わる活動となりました。

ひたち若者ががやき会議は「何かにチャレンジしてみたい」「社会に関わってみたい」と思う若者と地域社会をつなぐ架け橋のような存在でありたいです。

コアメンバーも含む若者世代がひたち若者ががやき会議を通じて自己実現しようと奮闘する姿は、日立のまち全体を盛り上げる起爆剤になると信じています！

日立市に関わるキッカケが欲しい方、企画・実行力を付けてみたい方、ぜひ一緒に活動しましょう！



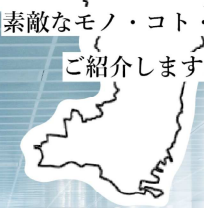
ひたち若者ががやき会議
コアメンバー
新妻 幹生さん



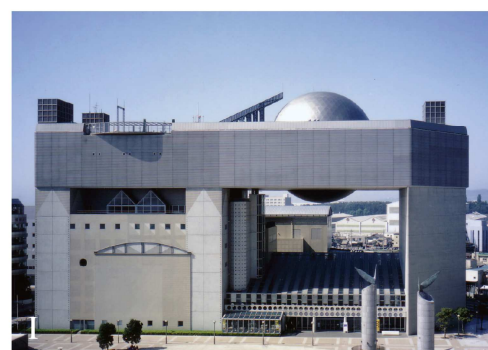


日立市
photo
モノ・コト・ヒト

日立市に散らばる
素敵なモノ・コト・ヒトを
ご紹介します。



- A / ひたちクリスマスマーケット2022を盛り上げる人々
- B / 十王パノラマ公園
- C / さくらまつり・日立風流物
- D / HITACHEERのクリエイター「HITACEERS」と日立駅
- E / 日立市街の夜景
- F / 日立市の灯台と海景
- G / そば処 眺山店主関さんとコアメンバーの多世代交流
- H / かみね公園レジャーランドから望む山と青空
- I / 日立シビックセンター
- J / かみすわ山荘でヨガ



日立市のモノ・コト・ヒトの
ありのままの魅力を伝える
若者目線のポータルサイト
HITACHEER はこちら >>>



ひたちで自分らしく暮らす。

file 02

専門学校文化デザイナー学院
広告プロモーションデザイン学科3年生

萩 ひかり さん

日立に住んでいて「いいな」と思うところは？

身近に自然があって、適度に息抜きできる場所。
都会にはない「余白」があって息が詰まらない。
気候がとても安定しているところ。

まちの「いいね」を見つけるには？

自然に身をゆだねること



ひたちびと

インタビュー

日立市で自分らしく豊かに暮らしている若者「ひたちびと」に、
日立市での ON と OFF の過ごし方を
聞いてみました。

file 01

日立市役所
総務部 防災対策課 原子力安全対策室 主事

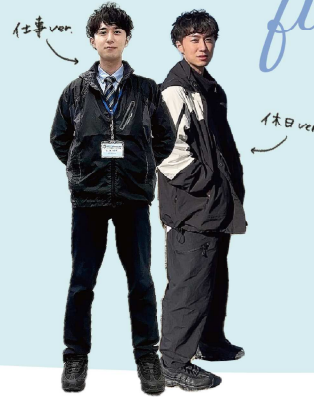
佐藤 伸太郎 さん

日立に住んでいて「いいな」と思うところは？

自然から派生する”過ごしやすさ”。どこに行くにもコンパクトに回れるところ。
生活に必要な最低限のものは身近にあるし、
海や山も30分で行き来できるのは贅沢だと思います。

まちの「いいね」を見つけるには？

シンプルに、気軽に生きること。



学校の日

school day

休みの日

a day off

仕事の日

work day

休みの日

a day off

6:30 朝の身支度

家族みんなのお弁当を作り、身支度をします。

8:30 40分かけて登校

電車と徒歩で登校します。読書したり、朝歩くことで脳と体をONにします。

9:00 みっちりデザインのお勉強



▲ 萩さんデザインの干し芋列車

学校では主にチラシやパンフレット制作のグラフィック・web・デッサン等、デザインの技術や知識を学びます。午前中は90分授業を2コマ受けます。

12:00 東の間の休憩

仲の良いクラスメイトとお昼ご飯を食べます。

13:00 午後の講義開始

16:00 講義終了

放課後は、帰り道にある猫カフェに寄ることもあります。そこにいる人たちと雑談をして癒されています。



6:30 日立の海を朝散歩



天気の良い休日の朝は海へ散歩に行きます。朝日を浴びてきらめく海を見て、心と体をリフレッシュします。

▲ 萩さんが歩く朝の海の景色

10:00 おうちでまったり

普段デスクワークなので、午前中はストレッチをして凝り固まった体をほぐし、リラックスして過ごします。部屋の掃除をしたり、課題の紙の整理などをして環境を整えると平日が快適です。

13:00

交流センターでフルーツ練習

吹奏楽の仲間と一緒にアンサンブルをしています。日立市は無料の活動施設もあるので、練習にとっても便利です！



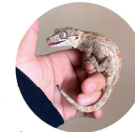
▲ 萩さんのフルーツ

22:00 なかなか会えない友達と電話

最近の何気ない話をします。ライフスタイルが変わってしまったけど、休日の夜は比較的時間が合います。

6:30 朝はトカゲのご飯から

自分のご飯もきちんとつくって食べる派です。



8:30 知識のインプットもかかさず

出勤したら計6紙の新聞を読んで原子力関係の記事をピックアップ。時代を読むことの大切さを学べます。始業後は窓口へ来られた方々の対応をします。ご質問が多いのは、防災ラジオやハザードマップなど。市民の皆さんの安心感につながっていると実感します。

12:00

ランチタイム

課のみんなと地域のお弁当屋さんで注文したり、地元の野菜を使って自分でお弁当を作っています！



▲ 地元の野菜たっぷりの自家製弁当

13:00 メールチェック&郵送物送付

メール確認や、郵便物を地下の文書集配室へ送り届けます。意外と知られていないかもしれませんが、夕方には給食食材の放射能測定結果と空間放射線量を日立市ホームページに毎日アップしています。

19:30 通勤して家でのんびり

トカゲの世話や筋トレ、ウイスキー片手に洋画を観ます。

10:00 休日もトカゲの世話から

他にも本を読んだり、原子力関係の勉強をしています。

11:00 地元の野菜を調達



▲ 日立の新鮮な野菜たち

十王物産センター 鶏喜鶴喜(うきうき)で食品の買い物をします。野菜が本当に安いです。早く行かないと売り切れてしまいます。

13:00 お買物でひたちを満喫

ペット用品を買うついでに自分の洋服を見ます。2023年、日立ショッピングセンター(※旧イトーヨーカドー日立店)に県内最大級の無印良品がオープンするので楽しみです。それから、散歩も好きでよく出かけます。海や山の豊かな自然を感じながらの散歩は最高です。

19:00 おつまみを作って一人晩酌



▲ この日は手作りおつまみで晩酌

外で食べたり、散歩がてら飲み屋さんを探したりもします。そのあとはPCでネットサーフィンをしたり、映画を観たりしながらリラックスして過ごします。

Poem 3:47

日立の玄関口にて

地元を出た若者、残った若者。
それぞれの視点から、
「地元」と「自分」について語り合う一場面。



取材協力：シーバーズカフェ

〒317-0074
茨城県日立市旭町1丁目3-20
[営業時間] 7:00 ~ 22:00
☎ 0294-26-0187

さくら	日立市出身 在住。 日立二高 茨城キリスト教 大学卒業後、同大学職員 として就職。学生生活のサ ポートをしている。	佳乃	日立市出身 都内在住。 日立二高卒業後、都内の私 立大学に進学。卒業後は学 生時代にアルバイトとして 務めたアパレルショップの正 社員として働いている。
-----	---	----	---

さくら 「佳乃(よしの)、本当久しぶりだね。この前

の由香の結婚式以来...だから、2年ぶり？
大人になるとき、無理にでも約束しないと
なかなか会わずに時間ばかり経っちゃ
よね。」

佳乃 「それね。それにしてもさくりますます駅前

寂しくなってるよね。なーんかなあ。高校
の帰りはいつも駅前で時間つぶしたじゃん。」
さくら 「そうなの、昔を知ってるからか、今は余計
にガランと見えるよね。」

佳乃 「でもさ、その分今は週末に色々なイベント

やってるね。昨日も親と駅前に寄ってみた
けど、子供向けのイベント？すごい人だっ
たよ。こんなに日立に人、いるんだってう
くらしい(笑)。」

さくら 「前にSNSで見たんだけど、市役所とか色

々な団体の人が頑張っているみたい(※1)。
それに、これからの時期はイルミネーション
があるから(※2)、イベントと絡めてもつ
賑わってくれるといいんだけどね。」

佳乃 「そうそう！イルミネーションさ、毎年パワ

ーアップしてるじゃん。あれ見ながら屋
台のおいしいもの食べられたら結構いい休
日になると思うよ。」

さくら 「うん、私も楽しみ。地元のこととか、日立

市の人たちのことなんて今まで全然考
えたことなかったけど、最近多いんだ
よね。日立の「これから」のこと、話す機会。」
佳乃 「へえー。」

さくら 「みんな、口に出さなだけで、地元が好き

なんだって思った。ネガティブなことも言
うけど、それと同じくらい、前を向いて
いる人たちが多くて。私もそういう人
たちを見て思った。意外と地元が好き
で残ってるんだなって。」

佳乃 「なんかさくら、イキイキしてる。どうした

の、かつこいいじゃん。」
さくら 「...そうかな。今まではさ、特にこれだ！
って理由が無いままだ地元に残っちゃったこと、
モヤモヤして。こういう人生を送るって決
めたのは自分なのに、つまらない人生だ
な〜日立ってなんもないな〜って。たぶん
だけど私、全部日立市のせいにしてた。でも、
日立のことを前向きに考えてる人たち
を見てたら、考え方が変わってきた
んだよね。人がいないのだから、言い
換えればストレスなく生活ができて
るし、こう、変に干渉されてい
る感もないから、気楽だよ。通勤の
バスの中で、そんなに人がいるわけ
でもないし、窓からは海とか山が
見えて、恵まれてるなあって思
った。」

佳乃 「バス？さくら、バス通勤してるんだ。日立だ

と車か徒歩しか通勤しづらいん
じゃないの？」
さくら 「私たちBR(※3)って
いう専用道路を走るバスがあ
ってさ。専用道路だから乗り
心地もいいし、結構快適なんだ
よ。本数も多くて、全然、不便
はしてないかな。」

佳乃 「そっか、そうなんだ。さくらの言う魅力、



分かる気がするな。なんか、いろんなこと考えられる余裕？余白？があるのかもね。東京は刺激的なモノも多いけど、せかせかして、自分のこと、たまに見失いそうだよ。でも、親に無理行つて東京出させてもらってるから、もう少し、やるだけやってみたい。そんなに明確な目標、あるわけじゃないんだけどね。」

「うん、いいと思う。東京で頑張ってる佳乃、カッコいいよ。…あ、そういえば東京と日立で2拠点生活している人もいるんだって。この前テレビでやってた。」

佳乃 「ええー！？うそ。すごいガッツだね。…あ、よく見たら日立市の移住サイトにも載ってる人だ。でも特急に乗ってパソコン作業したら2時間なんてあっという間だったし…選択肢としてなくはないのかもね。」

さくら 「べつに佳乃にそういう生活を強要しているわけじゃないよ。その人も、私たちも、自分たちらしくいるために今のスタイルをとっているんだって、前向きに生活できているといいよね。私はここ最近ようやく日立に住んでいる誇り…って言うとかさいけど、自信がわいてきたの。私は私でこっちで頑張るからさ、佳乃もやるだけやってみて。」

佳乃 「…うん。さくらと話したら元氣出たよ。あー、なんか高校の友達にもまた会いたいな。今度忘年会しよう。」

さくら 「いいね。この前さ、私が卒業した大学の文化祭が久しぶりに対面で開催されたんだけど、ちよつと学科とかに顔出してみたら見知った顔がいっぱいあって。それだけでもホッとしたよ。あー、地元だなんて。別に何も約束したわけじゃないのに、皆来てた。佳乃とか、東京組？にもそういう風な場所って思ってもらいたい。何も約束しないでも集まれる場所、集まればいい場所。…よし、私、幹事やるから、年末部活のメンバー集めようか。」

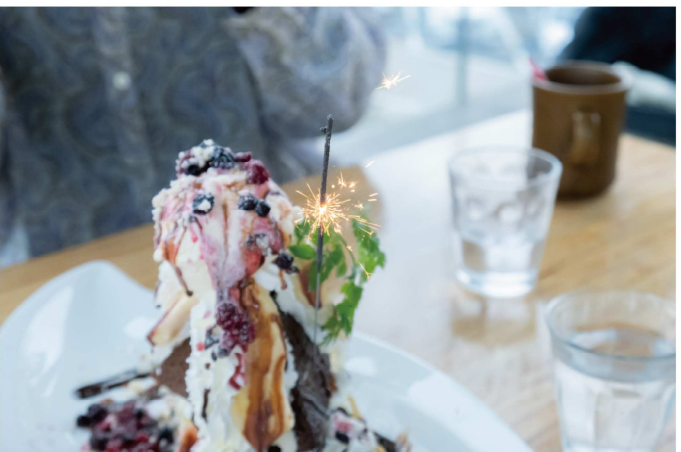
佳乃 「さくら、本当にどうしたの、幹事なんてキヤラじゃなかったじゃん。」

さくら 「いやいや、ただ好きな友達に会いたいから約束取り付けるだけだよ。この前まち歩きしてさ、大通りからは一本入ったところで分かりにくいんだけど、とっても素敵なマスターがいる店、見つけてね。そこに皆を連れていきたいんだ。」



佳乃

「へえ、インスタもおしゃれそう。こんなお店あったんだ。」



さくら 「そうそう、意外とあるの、知らなかっただね。高校のメンバーで地元に残ってるの、私だけだし、皆が帰ってきたときにオスメのお店紹介できるようにになっておきたいの。勝手な使命感(笑)。」

佳乃 「えー、それじゃ帰ってくるの楽しみになっちゃうじゃん。なんなら、私まで地元愛つて言うの？ちよびつと増したかも。ありがとう。」

さくら 「こちらこそ、ありがとう。また連絡するね。」

※1 日立駅前のシンボリックな存在であった『イトーヨーカドー日立店』が2022年1月閉店。これを受けて、「日立駅前地区の活性化」と「にぎわい創出」を目的とした【ひたちこれからプロジェクト】が立ち上がりました。市内事業者等による「生鮮食品」や「お弁当」、「生活雑貨」などを取り扱う期間限定ショップの設置(2022年10月に終了)や各種イベントを駅前で開催し、日立市のこれからを再起させていこうと一丸となって取り組んでいます！

※2 毎年冬には、日立駅前の日立シビックセンター新都市広場全体が豪華なイルミネーションで彩られます。点灯に合わせて、中高生による、夜限りの吹奏楽コンサートや、星空特別観望会、クリスマスマーケットなども実施され、幻想的な雰囲気包まれます。

※3 日立電鉄線跡地を活用した、バス高速輸送システム(Bus Rapid Transit:略)BRT)の愛称。77年間愛された日立電鉄線という私鉄の跡地を活用して、バス専用道路(約6.1km)が整備され、2019年4月から本格運行しています。

渋滞に巻き込まれないとともに、急ブレーキも少なく乗り心地の良いバス。朝、夕の時間帯は、約10分に1本の高頻度で運行しており、通勤や通学に欠かせません。

「隣の芝が青く見えすぎる」

新型コロナウィルスによる外出自粛生活を皮切りに、ソーシャルメディアで過ごす時間は十倍になったと言われています。人々は、リアルでの交流ができなくなった分のつながりをSNSに求めましたが、そこで目にするのは同年代とは思えないくらいキラキラした人たちでした。本当は、私たちと何ら変わらない日常生活を送っている、ただ、SNS上の理想空間を埋めるために必死に一部を「切り貼り」しているだけなのに。こういった環境下なこともあり、私たちはいつの間にか自分軸で生きづらくなってしまうような気がします。

「地元志向な人間はつまらない？」

生まれてからこれまで一度も地元を出ず(なんなら実家を出ず)過ごしてきた人間は、「意思がない」のでしょうか。キラキラした人たちは、みんな、自分を「成長」させるために工夫をしながらたくさんの場所に・人に、オンライン・オフライン問わず会いに行つて…それに比べて私はどうなんだろう？と、落ち込んでいる人を見かけます。しかし、これも「他人軸」の罫。なんとなくも地元を選んでる、選り続けていることはすごいことだと思えます。考えてみてください。生まれてから今まで、10〜20数年続けてきたことって他にありますか？そう多くはないはずですが、大切なのは、地元にいることを「自分が」ととらえるか。なんとなくでも地元が好きだと言える理由は何だろう？と内省し、言葉にできている人は皆他人の生き方に囚われず自分らしく人生を楽しんでいるように見えます。

「さくら」と「佳乃」

今回登場する「さくら」と「佳乃」はともに同じ日立市内の高校の同級生という設定です。さくらは、これまでずっと「なんとなくで地元でのキヤリアを選択してきてしまった」ことにごか自信を無くしていました。大学進学を機に東京へ行くことを選んだ佳乃に対しても寂しさ半分、嫉妬も半分…といったような感情です。

しかし、コロナ禍との共存方法も少しずつ見えてきて、地域活動が復活してきたことから、さくらの勤める大学の窓口には日々たくさんの方と会話をするうちに、自分でも言語化できていなかった日立市の良さが見えはじめ、日立市で暮らすことをこんなに楽しんでいる人たちがいる心強さに後押しを受けるようになりました。今回のカフェでの話をキッカケに、都内で自分を見失いかけ、気持ちも体力も実は疲弊していた佳乃が、二十代後半のキヤリアを考え直すようになるのはまた別のお話。

日立のわかもの

これからの時代を担う若者世代が、日立市を舞台にかがやきながら成長し、心豊かに暮らしていける環境づくりに向け、ひたち若者かがやき会議が始まりました。若者主体のまちづくりや、地域課題解決に繋がるプロジェクトを推進しています。



若者会議全体会

若者世代が一堂に集まり、ひたちの未来について意見交換や交流する場を開催

【つなぐ場の創出】
場づくり
プロジェクト

私たちの課題について考えるため、点在する若者や若者グループをつなぎ、世代の垣根を超えた交流にもつなげる場を創出する。

【ありのままの魅力を発信】
発信プロジェクト

ひたち若者かがやき会議の活動紹介の他、若者目線のポータルサイト『HITACHEER』内でひたちの魅力を発信。

地域への第一歩を、わたしたちと。

ひたち若者かがやき会議の仲間を募集！

- 【コアメンバー・メンバー】
市内に在住、勤務又は通学する
18 - 39 歳で活動方針に共感し、
仲間と積極的な挑戦がしたいという方
- 【サポーター】
制限なし

コアメンバー

メンバー

サポーター

若者かがやき会議の
企画と運営を担うメンバー

運営ボランティア・プロジェクトに
ちょっと関わってみたい方・
情報や学びを得たい方・交流したい方

若者かがやき会議が主催する事業に参加・
応援してくれる個人・企業、SNS フォロワー

ひたち若者かがやき会議

日立市 生活環境部 女性若者支援課内

〒317-0073 茨城県日立市幸町 1-21-1 日立シビックセンター

TEL:0294-26-0315 FAX:0294-26-0317 MAIL:wakamono@city.hitachi.lg.jp

企画・発行 ひたち若者かがやき会議 編集・制作 合同会社イナツマ

活動内容など詳細は

ひたち若者かがやき会議

Promotion Video



「燃えたい」の芽が出るきっかけに →

「ありたい/働きたい」を明確に →

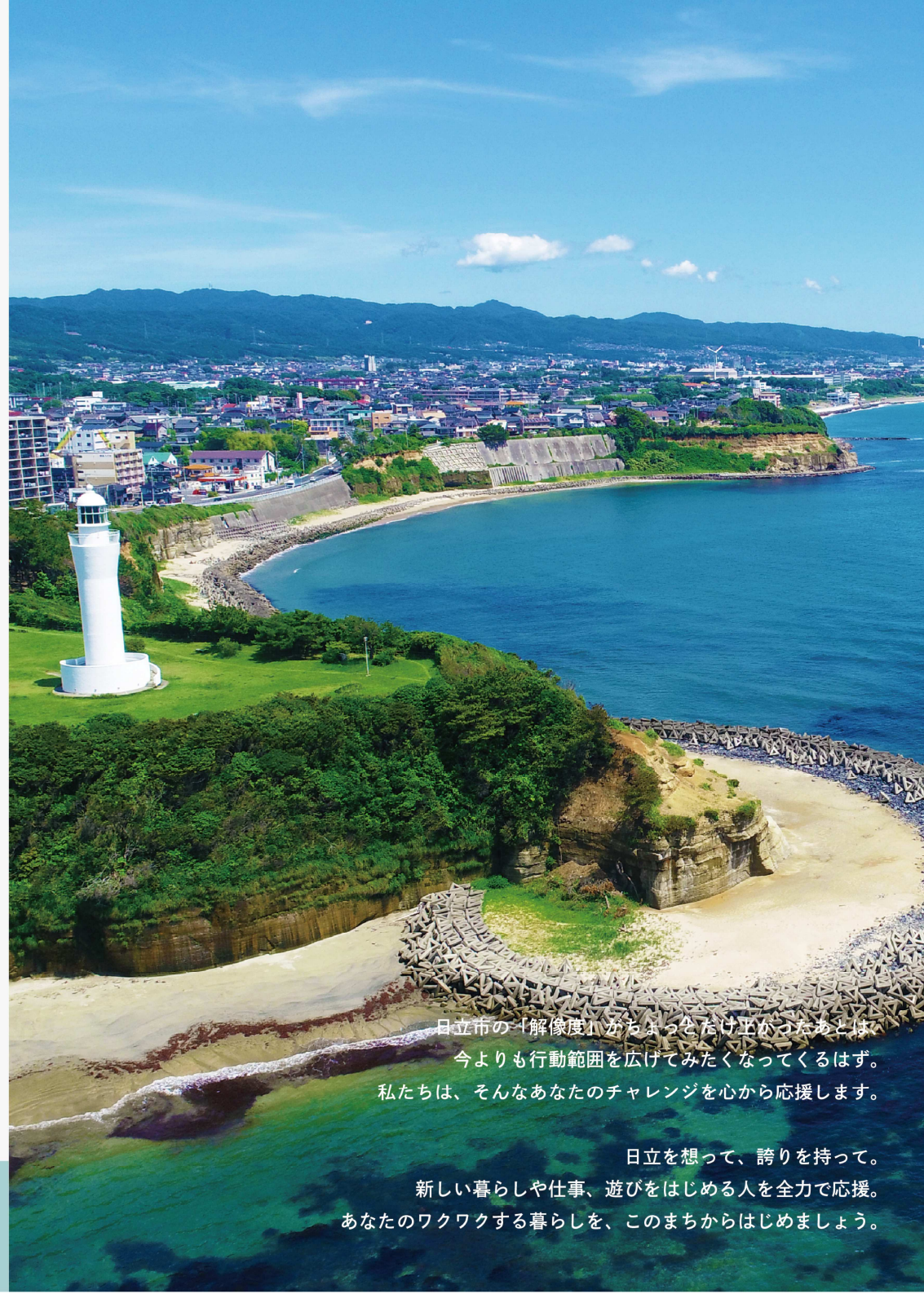
「叶えたい」に向けた行動を本格的に

人才でつながる社会へ

1 講演会・企業研修
ワークショップ型の研修でチームビルディングや営業/企画/マーケティング組織の実践スキル向上を支援

2 キャリアコンサル
“ありたい姿”を具体化したキャリアアプランを専属キャリアトレーナーと共に設計していきます。

3 SNS 運用 / WEB 制作
SNS 運用代行だけでなく、SNS→EC・オフィシャルサイト→購買へと結ぶ Web 制作も行っています。



日立市の「解像度」がちょっとだけ上がったあとは、
今よりも行動範囲を広げてみたくなってくるはず。
私たちは、そんなあなたのチャレンジを心から応援します。

日立を想って、誇りを持って。
新しい暮らしや仕事、遊びをはじめの人を全力で応援。
あなたのワクワクする暮らしを、このまちからはじめよう。